

トップニュース

本願寺新報
hongwanji journal



倒壊の恐れがある自宅から納屋に運び出された仏壇

能登半島地震で自宅が大きな被害を受けた石川県七尾市能登島長崎町の出村又幸さん(79)、潔子さん(73)夫妻(同市・浄尊寺門徒)を2月28日に訪ねた。2人は現在、自宅隣にある空き家(親戚宅)で暮らし、同居していた長男家族とは離ればなれとなっている。地震からの2カ月間を聞いた。

震度6強の激しい揺れで、築150年を経た木造平屋建ての自宅は、屋根の一部が崩れ落ちた。居間の柱にしがみつき、揺れが収まるのを待ったという2人は「今までに経験したことがない激しい横揺れ。2人とも家の下敷きになってしまったと覚悟した」。

「家が壊れる音なのか、バリバリという不気味な音が聞こえた。居間の天井が崩れたら駄目だと思った」と振り返る。

揺れが収まった後、敷地内の別荘で暮らす長男の寿也さん(52)、友美さん(52)夫妻と無事を確認し合い、津波に備えて車で高台に避難。相次ぐ強い余震におびえながら、車中で一夜を過ごした。

自宅はかつて倒壊を免れたが、縁側は屋根から崩れ落ち、ガラス片や壊れた家具などが散乱し、住める状態ではなかった。2人は金沢市で働く寿也さんが同市に借りる一軒家で約1カ月間、避難生活を送った。自宅に戻ったのは2月5日。被害をほとんど受けていなかった隣の空き家(親

「お仏壇を仏間に収めるまでは」

能登半島地震 門徒を訪ねる

出村又幸さん 潔子さん 夫妻

(石川県七尾市・浄尊寺門徒)



築150年を経た出村又幸さん宅は縁側が剥がれ落ちるように崩れた

類で生活しながら、家の片付けを始めた。又幸さんは8日から、自宅前の県道に倒れ込んだブロック塀の取り除き作業に取りかかった。1人で行う姿を見つ

けたのが、浄尊寺(勝尾寺)の住職、能登島長崎町での片付け作業に向かう能登半島地震支援センター(金沢市・金沢別院内)のスタッフ。又幸さんの様子を聞き、勝尾住職とスタッフですぐに又幸さんの元に駆けつけ、電動ハンマーでブロックを細かく砕き、県道から撤去した。同時に、又幸さんから「家はいつ倒れるかわからない。何とか今の間にお仏壇を出したい」という依頼を受けてその場にい

た仏具店の職員と一緒に仏壇を搬出。被害が少ない納屋に仮安置した。又幸さんは「この家とともに先祖から大切に受け継がれてきたお仏壇。昔からこのお仏壇を中心に生活してきた。地震後、ずっとお仏壇のことが気になっ

いたが、自分たちではどう運び出したいのかわからず途方に暮れていた。僧侶の方に手伝っていただき、運び出せて本当に助かった。お参りできると助かるとも思えてきた。お参りできると助かるとも思えてきた。お参りできると助かるとも思えてきた。

心の依りどころ。この前に座り手を合わせていると心が落ち着く」と安堵する。現在、寿也さんと孫娘は金沢で暮らし、友美さんは被書のない実家(能登島別所町)で避難生活を送る。家族が離ればなれとなり、先行きが見えない不安を抱えるが、又幸さんは「これから先どうしようかと思うことばかりだが、何かあれば手伝います」とい

も声をかけてくれる浄尊寺さんや支援センターの皆さんのおかげで少しずつ気が持ちも落ち着いてきた。阿弥陀さまに見守られながら進めない。解体を行っていたとき有り難い」と感謝した。



門徒ら見守る中で鐘楼解体

「寂しいが前に進む」

七尾市連照寺 ボランティアが作業

2月28日には七尾市の連照寺(河野誠住職)で、倒壊した鐘樓の解体作業が行われた(写真)。作業には、能登半島地震支援センター(金沢市・金沢別院内)からのボランティアなど6人が参加した。作業は、毎年の大みそかに鐘を撞いていた。この鐘樓にはいろんな思い出があるので、解体されるのは寂しい。しかし、いつまでも倒れたままでは前に

進めない。解体を行っていたとき有り難い」と感謝した。

解体作業は翌日まで続けられ、屋根の下敷きとなっていた梵鐘は、フルシフトで養生土台の上に置かれた。河野住職(52)は「ボランティアの皆さんのおかげで、復興に向けて一歩ずつ進ませていただいている。以前のように木造の鐘楼というわけにはいかないと思うが、ご門徒と相談して何らかの形で鐘樓を復興したいと思う」と話している。

支援センターは被災寺院などの要望に応じ、連日、七尾市や志賀町などで、倒れた土壁の撤去や災害ゴミの搬出などの作業に携わっている。支援センターではボランティアを募集している。問い合わせは支援センター ☎090(2)565(5)325または090(2)1603(5)6660。



能登半島地震支援センターホームページ

福岡支局 〒812-0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話 宗務所 075(371)5181/大谷本願 075(531)4171

宗派公式Webサイト <https://www.hongwanji.or.jp>
本願寺ホームページ <https://www.hongwanji.kyoto>